



Newsletter

No. 41

2011年1月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

満10年を迎えるレイバーネット日本 継続こそチカラ！

レイバーネット共同代表 松原 明

2010年12月23日のレイバーフェスタ2010（東京）は、過去2番目の280名の参加をえて大成功のうちに終了した。9回目を迎えたレイバーフェスタ。年を追うごとに内容が充実し評価は高いのだが、いつも「参加者がいまひとつ」という感じだった。それが今回は違った。

参加者の顔ぶれをみていると、やはりこの間の「運動の蓄積」の結果だと思う。ワープア川柳班をはじめ報道部・国際部などの地道な活動、メディアールと連携した講座活動、レイバーネットTVの新たな展開、レイバー映画祭の成功など、さまざまな取り組みの中で生まれた人間関係・つながりが、「運動力」となりレイバーフェスタに結実したのではない。

レイバーネット日本は、2001年2月に約40人でスタートしたが、満10年の今年には会員が470名になり大きく成長した。ウェブサイトへのトータルアクセスもまもなく300万に達する。2001年に発行したニュースレター創刊号には「これまでの労働運動のイメージ『暗い・ダサイ・カタイ』

から『明るい・楽しい・やわらかい』に変えよう」という記事が載っていたが、レイバーフェスタの活動を通じて、そうした役割を小さいながらも果たしてきたと思う。

非正規・貧困

があたりまえになってしまった今の日本。政権交代でも何も変わらない日本。デモもストも起こらない日本。でも怒りや不満は沸点に近づいている。このままではだめだ、とだれもが思い始めている。「継続こそチカラ」、地道な努力を続けることで新たな可能性を掴んでいきたいと思う。



過去2番目の参加者で成功したレイバーフェスタ2010

より味の濃い「レイバーネットTV」へ

～1月20日(木)「JAL 整理解雇問題」を放送～

新たなサイクルを迎える2011年前半では、昨年の反省を踏まえて、番組内容をより一層充実させるとともに、今年からテレビチームとしての活動を拡大することにしました。雇用情勢がいっこうに回復しない労働現場では、多くの労働者仲間が日々争議を闘う一方、昨年末の日本航空大量解雇のような大争議（1月20日放映）から、今年大詰めを迎える派遣切り裁判（2月17日放映予定）など、注目すべき闘いがたくさんあります。レイバーネットTVでは、これら当該を支援するためだけでなく、これまで労働組合やはたらくものの権利について関心のなかった人たちにも理解・共感してもらえよう、情報を広く伝えていきたいと思っています。特にターゲットにしたいのは若者たち。それには、第一回サイクルで大人気を誇った「教えておじさん！」のコーナーのように、若い層がもっと発言できる場を設けることにしました。

また、今年から毎月第3木曜夜の定例番組に加え、特別番組を放映します。第一回目は、「レイバー

ネットTV教育特番 窒息寸前！学校現場・東京なう」（2月24日放送）とし、自分たちの権利と日本の教育を守るためにがんばっている先生たちの闘いをご紹介します。市民メディアとしてインターネットテレビ放送の技術も安定しつつある中、レイバーネットTVは今年から他団体のテレビ放送をお手伝いする事業をはじめました。ご関心ある方は、レイバーネットTVまでご連絡ください。



1月25日ゲストの日航キャビンクルーユニオン・内田妙子委員長

(TVプロジェクト責任者・松元千枝)

2 p 下段へ関連記事

大成功だったレイバーフェスタ

12月23日、レイバーフェスタ2010が東京しごとセンターで開催された。9回目の今回のフェスタは、映画・演劇・音楽・3分ビデオ・川柳・朗読のさまざまな形で、はたらくものの声を表現した。民営化とたたかうトルコたばこ労働者を描いた「抵抗者」、韓国スミダ争議の日韓連帯を描いた「海を越えた初恋」の上映を中心に、3分ビデオ・レイバーソング等で盛り上がった。「労働者の国際連帯の大切さ」「文化の力を感じた」の声が寄せられた。参加者は280名でフェスタ歴代2位。これまでの運動の積み重ねが、内容・集客に結実したフェスタになった。



3分ビデオ「日赤・いじめの病巣」 泣き寝入りするしかない人への励まし

壹花花

今年のレイバーフェスタで印象深かったのは、大阪の3分ビデオ作品「日赤・いじめの病巣」(写真上)だ。不器用という因縁をつけられ、椅子を蹴られるなどの酷いいじめに遭った人が、唇を噛み声をつまらせて語る。もう6年も前の話なのに、彼女の中ではそのパワハラがずっと心にのしかかり、苦しんでいた。不器用な自分がいけないのだと自分を責め、新しい仕事をするにもなかなか自信が持てなかった。人生を狂わされたといっても過言ではない。彼女はこの悔しい気持ちを聞いてほしいと、ビデオ制作者にメールを出したことにより、この作品が生まれた。最後の場面で彼女が涙声になったのは、当時の辛さを思い出したというよりもむしろ、「ああ、やっと話せた」と、これまで独りで心の中にしまって耐えてきた緊張感が解け、感情がこみ上げて堰から溢れてきたような感じだった。

かつて自分も短期間ではあったがパワハラ職場にいたことがあった。暴力はなかったが無能さをなじられ、露骨な嫌悪の態度をとられた。居残って闘うことは精神的に無理だったので自主退職した。それ

しかなかった。闘えなかった。頑張ろう頑張ろうと思ってもやっぱり無理で、退職を決意した日に流した涙は、辛さというよりも安堵に近かった。

制作者は「争議や裁判に至るのは労働問題全体の中の一部であり、このようなパワハラで苦しんでいる声がたくさんある」と語った。不当労働行為に傷ついた上に、更に争議や裁判を闘い抜くというのは、心をしっかり持たないとできない。不正に対して怒る前に、悲しみや苦しみでグッタリしてしまい、気丈になれない人はいる。争議だけが労働問題の解決の全てではなく、例えばこの作品が示したように、本人の気持ちに寄り添いながらゆっくり、丁寧にサポートしていくことも、「解決」の一つの形なのだ。

就活デモのビデオには「求める能力高すぎ！」という怒りのプラカードがあった。景気や経営の問題を、学生や労働者の能力(自己責任)の問題に不当なほど転嫁している卑劣さを、企業はもっと自覚すべきだ。高いハードルを乗り越えられない人たちはたくさんいて、うつや引きこもりになっていく。他

3 p 下段に続く

レイバーネットTV

教育特番「窒息寸前！学校現場・東京なう」2/24(木) PM8:00

レイバーネットTVでは、いま東京の学校がどうなっているのかをリアルに伝える教育特番を2月24日午後8時から1時間番組でお送りします。

新年を喜べない人たちが東京の学校にはいます。それは、3月の卒業式を間近に控えて「君が代」斉唱に悩む心ある教員たちです。石原都政になって9年、2003年の日の丸・君が代の強制を突破口に、学校はもの言えぬ管理と競争の場が変わってしまいました。まさに窒息寸前の学校現場です。

番組では、その実態を教員や保護者の方々に語っていただきます。また、東京の教育「改革」を踏襲

する大阪や、教組つぶしの弾圧にさらされる北海道の教員の方々も出演を予定しています。ご期待ください。(教育特番担当・佐々木有美)

→レイバーネットTV視聴方法は簡単です。アドレスは、<http://www.labornet.jp.org/tv> 検索で「レイバーネットTV」と打っても入れます。ツイッターをやっている人は、放送中に感想・質問など寄せてください。わからないことはなんでも電話サポート03-3530-8588へ。

『がつんと一句！ーワーキングプア川柳』 発行

～読んでください、そしてカンパを！～

2008年レイバーフェスタから生まれた「ワーキングプア川柳」の運動が句集「がつんと一句！」として結実しました。この本はたんなる句集ではなく、文字通り、レイバーネットの歩みでもあります。2000部発行しましたが、会員に広く読んでほしいので、今回すべての会員に無料で送付することにしました。すでに購入済みの方は、回りに拡げていただければ幸いです。そのうえで恐縮ですが、可能な方にカンパをお願いしたいのです。これまで賛同金を12件・24000円いただいておりますが、現在なお印刷費などで20万円の赤字を抱えています。なんとかこれをクリアし、トントンに持っていきたいと思っています。同封の振替用紙で少額でもけっこうですので、送っていただけるとありがたいです。(レイバーネット川柳班)

新書判104ページ

定価 735円(税込) レイバーネット日本・川柳班編著

注文はレイバーネット事務局に！

感想：面白かった「がつんと一句！」

豊島正悟



タイトルがいい。左手で川柳、右手で給料日。指折り数える男のイラストがいい。そしてワーキングプア川柳。プアがタイトルの川柳だけど内容は豊か。文化度が高い。文化低国日本では珍しい。個性が有り余っているレイバーネット集団なので、果たして川柳でまとまるのか？ 自由な句を自由に並べて「はい、句集」という本であると考えていた。ところが一中学・高校の国語の参考書、大学川柳クラブのテキストにしてもいいような、堂々とした川柳の本。驚きました。それでいて川柳はユニーク。メチャ面白い。このユニーク、メチャ面白さは国際的。日本人だけのものにすべきではないと思います。

木下昌明『映画は自転車にのって』好評発売中

～ソウルフラワー・中川敬さん「強く推す！～

待望の木下昌明新刊『映画は自転車にのって』読了。

イーストウッド映画への異論、パレスチナ映画の眼差し、日本人の戦争と戦後、労働ドキュメンタリー等々、チャップリンからケン・ローチ、マイケル・ムーア迄、生活や労働と寄り添う地べたの映画表現に拘り続ける、木下節満開の映画批評集。強く推す！（中川敬）

→績文堂出版 03-3260-2431 またはアマゾンで。



2 pからの続き

には、自殺対策キャンペーンを撮った作品もあった。3分ビデオはいろいろな作品がつながって見えてくる。

拳を上げてのシュプレヒコール、肩組み高らかに歌うインターナショナル、明るく元気に踊りながらの韓国の労働歌。見ていて心は高鳴るが、一方でいたたまれなくなってその場から逃げ出したいくなるのは、自分の性格の所以だろうか。それとも聞えずに「逃げた」負い目があるからだろうか。

布団かぶって泣いていい。泣きあかしてから考えればいい。会社としては泣き寝入りしてくれたら御の字。それは悔しい。でも実際に泣き寝入りするしかない人がたくさんいる。立ち上がる気力さえ奪われた人がたくさんいる。インターナショナルが響かない人がたくさんいる。「日赤・いじめの病巣」はその存在に光を当てた。

新入会員紹介

●フランス社会から日本をみる 辻俊子

昨年10月末に一時帰国した際、ビデオプレスのオフィスを訪ねてレイバーネットの新会員になりました。私は学生として渡仏して以来、30年以上この国に住んでいますが、80年台、パレスチナや南アのデモの集会やデモに出かけると、隊列に必ず複数の労働組合の旗がたなびき、フランス社会の連帯性が新鮮でかつ、心温まる思いをした事をよく思い出します。皆で社会、世界をいい方に向けていこうという意識が、去年の秋の年金法改悪反対運動のパワーにも感じられました。ビデオプレスとのお付き合いは2004年「人らしく生きよう－国労冬物語」のフランス上映がきっかけですが、パリ在住有志で立ち上げたNPOでは、映画の上映会等を通して、日本社会の問題提起を行っています。昨年11月には2ヶ所のパリ大学日本語科で「沖縄コロック」を共同企画・開催しました。パリにお寄りになる方はどうぞご連絡ください。これからもどうぞ宜しくお願いします。

●シングルマザーで派遣労働11年 渡辺照子

「シングルマザーで同じ派遣先に11年（不本意ながら記録更新中）」の渡辺照子（ペンネームは宇山洋美）と申します。労働者派遣法で「受入制限期間なし」、つまり何年いても派遣のままの専門26業務の中のOA機器操作を契約条件とし働いています。毎年一個ずつの資格を取得し、過労のため派遣先で倒れるまで働いても、正社員にはしてくれず、時給もアップしません。労働組合加入が派遣先に知られたら直ちに雇い止めになる身の上です。しかし、そんな当事者だからこそ経験し得ること、見えるものがあると思います。労働者派遣法改正にも取り組んでいます。皆様と広く強く連帯したいです！がんばりますので、何卒よろしくお願い致します！

●私のスタンス：「平和と民主主義」運動の克服 下菌紀一郎

・求めるべき社会は、「食べられて」当然の社会。・官僚主義や労働貴族発生の防止のためにも、人間性尊重を徹底するラジカル・ヒューマニズム路線を追求。・運動においては、「労働者の賃金は労働力という『商品価格』ではない、人としての生活給である。」を主張。・憲法九条は金科玉条ではなく、今なお戦争犯罪を反省できないための恥辱の条文である。・従って、九条の改廃は、解釈改憲の歴史と排外主義的歴史認識の徹底的な断罪なしにはあり得ない。・いわゆる「平和主義」は、反省なき改憲論を増長さ



フランスの年金改悪反対の大集会（2010年10月）

せるので賛成できない。（シモンノ キイチロウ）

●日本ジャーナリスト会議のノンポリ 保坂義久

レイバーフェスタの時に入会した保坂義久です。日本ジャーナリスト会議（JCJ）の機関紙を作っています。JCJは1955年創立の老舗の組織で、「赤旗支部」があるぐらいだから世の中の分類ではサヨクちゃんですが、わたし本人は「新日本プロレスも民主団体なの？」と赤旗の記者さんに聞くぐらいのノンポリです。（共産党系の方は、「民主団体」とか「民主書店」とか自分で言っているのがほほえましい。そして「新日本〇〇」ってネーミングが好き）そんな奴なので、言葉遊び、川柳の類は好きです。JCJ機関紙にも以前は川柳欄がありました。もっとも、わたしの句（？）が川柳になっているかは別ですけど。

●自己紹介に代えて 小林たかし（績文堂出版）

ある古人語りき。「危険思想とは常識を実行に移そうとする思想である」と。非常識で狂信的なナショナリスト石原都知事が、昨年末、年越し派遣村への協力を拒んだのはなぜか。上記古人の言がその答えだ。派遣労働者を支援し組織する運動は、さまざまな考えの多くの人たちによって、各地にいくつもつくられることが肝要。先の古人、また語りき。「自由思想家の弱点は自由思想家であることである。彼はとうてい狂信者のように癡（どう）猛に戦うことはできない」と。その昔、石原は著名な右翼活動家と、荒波と官憲の妨害と戦い、尖閣諸島に最初に灯台を建てた。派遣村の活動家たちは、その他大勢のような顔をしながら、地の塩となり、世の光となる。

お知らせ 3月にレイバーネットの満10年の総会+イベントを行います。詳細は次号で。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 470名

ウェブアクセス 1日 1700

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円